

各 位

会社名 桂川電機株式会社
 代表者名 代表取締役社長 渡邊正禮
 (JASDAQコード番号: 6416)
 問合せ先 取締役業務 太田 譲二
 役職・氏名 管理本部長
 電話 03-3758-0181

平成28年3月期の通期連結業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

平成28年2月12日開催の取締役会において、平成27年5月20日に公表いたしました通期連結業績予想及び当期末の1株当たり配当予想について下記のとおり修正することを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想の修正について

平成28年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (平成27年4月1日～平成28年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	10,500	140	110	10	0.65
今回修正予想 (A)	10,400	△ 430	△ 390	△ 500	△ 32.63
増減額 (B-A)	△ 100	△ 570	△ 500	△ 510	—
増減率 (%)	△ 0.95	—	—	—	—
ご参考:前期実績 (平成27年3月期)	11,081	△ 32	250	△ 73	△ 4.82

修正の理由

当社グループは、平成27年11月12日発表の平成28年3月期第2四半期決算短信では、親会社株主に帰属する四半期純損失61百万円を計上しておりましたが、グループでの販売の強化及び収益の向上による利益回復を目指し通期連結業績予想の修正はいたしませんでした。しかし、本日発表の第3四半期決算短信においても、当社グループは、営業損失及び親会社株主に帰属する四半期純損失を計上するに至りました。

当社グループは、業績予想の為替レートを110円としており、実際の為替レートは、当社グループに有利な状況で推移しましたが、国内外での企業間競争の激化による販売価格の下落、アジア経済の減速による中国、ロシアなど新興市場における販売低下、欧州市場の販売体制の再構築に時間と費用を要する等、第3四半期でも業績は落込み、期末に向けても厳しい状況は続き、当初の予想を大きく下回る見込みとなりましたため、平成27年5月20日に公表いたしました通期連結業績予想について修正させていただきます。

なお、第3四半期決算短信において通期連結業績予想を修正いたしました。今後業績予想を修正する必要があると判断した場合には、開示基準に従って速やかに開示いたします。

2. 配当予想の修正について

平成28年3月期 (平成27年4月1日～平成28年3月31日) 1株当たり配当予想の修正内容

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
前回予想 (平成27年5月20日発表)	—	0.00	—	5.00	5.00
今回修正予想	—	0.00	—	0.00	0.00
ご参考:平成27年3月期実績	—	0.00	—	5.00	5.00

修正の理由

当社の利益配分は、株主の皆さまへの利益還元を経営の最重要項目と位置づけており、安定配当を基本とした経営基盤を確立するとともに、配当性向の維持向上に努め、業績に応じた適正な利益還元をしていくことを基本方針としております。

平成27年11月12日発表の平成28年3月期第2四半期決算短信では、親会社株主に帰属する四半期純損失を計上しておりましたが、利益回復を目指し配当予想は1株当たり5円を据え置いておりました。

しかし、第3四半期決算短信においても、営業損失及び親会社株主に帰属する四半期純損失を計上し、今期の経営環境につきましては、厳しい状況が続くと想定されることから、誠に遺憾ではございますが、平成28年3月期の期末配当金につきましては、年間配当予想の5円から無配に修正させていただきます。

株主の皆様には、大変深くお詫び申し上げますとともに、今後業績の回復を目指し努力いたす所存でございますので、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

(注) 上記の予測は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等はさまざまな要因により大きく異なる可能性があります。